

第 61 回 SSN 勉強会

親子で楽しめる観察フィールドと子どもの応急手当の方法 Ⅲ

大山暁子（八千代市）

日 時：2013 年 9 月 21 日（木）10 時～16 時

講 師：午前 「親子で楽しめる観察フィールド：21 世紀の森と広場」

高橋 節 北山 繁 田中玉枝 片岡真知子

午後 「子どもの応急手当の方法」

日本赤十字社千葉県支部 指導員：高橋秀輝氏・大木喜邦氏

場 所：21 世紀の森と広場（松戸市）アウトドアセンター

参加者：指導員 17 名 非会員 3 名

21 世紀の森の大木に囲まれたアウトドアセンターで、東葛の方々が子どもたちとの日頃の観察会の一こまを見せてくださいました。用意されたアクティビティは小学 2 年生が対象で、実施した時は体育館で行ったそうです。4 つのコーナーを 4 班に分かれた参加者が 10 分ごとに巡るという展開でした。

各コーナーは

- ① **葉の香り** かんきつ類らしき 5 本の木の枝をそれぞれ嗅いで何の木か考えました。ミカン、ユズ、キンカン、レモン、グレープフルーツが正解でした。グレープフルーツはふだんあまり見かけない木でわからない班も多かったことでしょう。
- ② **同じ葉っぱを探そう** ブルーシートいっぱいに広げられたたくさんの種類の葉っぱにまぜびっくり、集めるのが大変だったでしょう。似たような葉っぱって以外にあるものです。
- ③ **おかしい葉っぱ** 虫こぶがついた葉、花芽が付いた枝、ハキリバチが切った跡がある葉、蜜腺のあるアカメガシワ、胞子のついたシダ、おもしろい実のなったフジカンゾウが準備されていました。ちょっと変わった葉っぱや虫の知恵におもしろさを感じました。
- ④ **鳥のお話いろいろ** 鳥が果たす森の命の循環の図、鳥（のくちばし）から餌を探すトランプ、カラスやスズメの大きさが実物大でわかる模型など力作の数々が用意されていました。室内で実施しなければならない時、鳥の実物を見なくても興味がわくよう工夫されていました。



午後からは日赤の方から「救急法の基礎知識」の小冊子をもとに全員参加で実習をしました。三角巾の使い方や心肺蘇生法、AEDの使い方は図を見ながら説明を受けましたが、実際に手を動かさずと思うようにいきませんでした。何度か実習してあわてずにはむようになりたいと痛感しました。そのほかに身近な物で急な事故に対処できる物、たとえばパンストで骨折した腕の固定をする、バンダナを三角巾に見立てて活用する、ラップで傷口を保護するなどの話が参考になりました。傷テープも接着部分に切り込みを入れておくとはがれにくいことなど、すぐに実行しようと思うこともありました。

10 時の集合から 4 時すぎの解散まで少し疲れましたが、充実した勉強会でした。